

富山市立小・中学校の再編に関する市民アンケート調査

— ご回答のお願い —

市民の皆様には、日頃より本市の教育行政にご理解とご協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

さて、情報技術の進化やグローバル化の進展など、今後、将来の予測が難しい社会を生き抜く子どもたちには、「柔軟に対応する力」「多様な視点から考える力」「仲間と協働する力」「果敢に挑戦する力」などを確実に育むことが求められています。

このような力を育むためには、**学校という集団の中で、教員の多様な価値観に触れ、たくさんの友達と切磋琢磨し、多くのことを学んだり経験したりすることが大切です。**

そのためには、今の子どもたちだけでなく、**将来の子どもたちが学びやすい学校規模であることが必要だと考えています。**

本市では、児童生徒数の減少に伴い、学校の小規模化が進んでいます。

子どもたちの教育環境を充実させ、将来にわたり維持していくためには、学校規模の適正化が必要です。

小・中学校の再編に取り組むにあたり、保護者の方だけでなく、さまざまな年代、職業、家族構成の方から広くご意見を伺うこととしました。

皆様にはご多忙のところ、誠に恐れ入りますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年8月

富山市教育委員会

◆ご回答・ご返送にあたって

- この調査票は、富山市内に現住する満18歳以上80歳未満の男性・女性から無作為抽出によって選出した5,000人の方にお送りしております。
- ご回答は、該当する番号を○で囲むものや、ご自由に記述していただくものがあります。「その他」にあてはまる場合は、()内にその内容をご記入ください。
- 本調査票にご回答を直接ご記入の上、**令和2年8月24日(月)**までに、本調査票を同封の返信用封筒に入れて投函いただきますようお願いいたします(切手は不要です)。

【調査実施者 (お問い合わせ先)】

富山市教育委員会事務局 教育総務課

電話：076-443-2130

以下の資料をご一読のうえ、続くアンケートにお答えください。

(参考資料)「広報とやま」令和2年8月5日号より抜粋

アンケートは6ページからです。



「市立小・中学校の再編」について ～未来の子どもたちのために～

図教育総務課 ☎443-2130

子どもたちの教育環境を充実し、将来にわたり維持するためには、学校規模の適正化が必要です。そのため、市では小・中学校の再編に取り組んでいます。

1 市内の児童生徒数は大きく減少しています

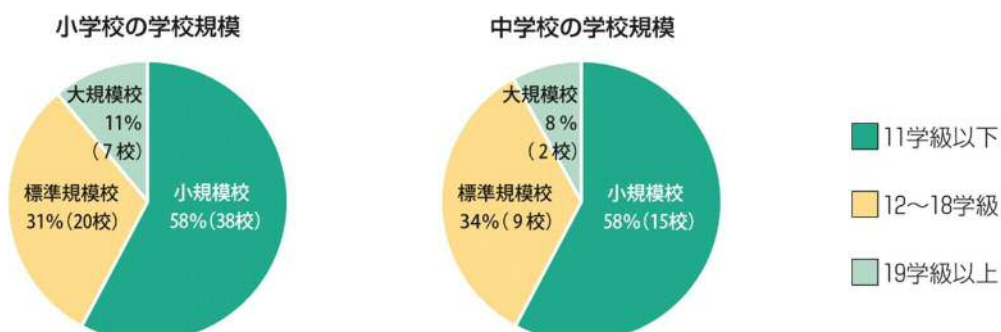
少子・超高齢社会の進行に伴い、市内の児童生徒数は平成元年(1989年)から令和元年(2019年)の30年間で大きく減少しています。

富山市将来人口推計報告書によると、今後30年間で0～14歳の年少人口は、さらに24.8%減少すると見込まれています。

	平成元年(1989年)		令和元年(2019年)
小学生	30,227人	➡	19,993人(33.9%減少)
中学生	18,439人		10,385人(43.7%減少)

2 市内の小・中学校は半数以上が「小規模校」です

学校教育法施行規則では、小学校・中学校の学級数はともに「12～18学級」を標準としています。一方で、児童生徒数の減少に伴い、市内の学校は、令和2年度現在、小学校・中学校ともに、半数以上が標準を下回る「小規模校」となっています。



学級数が法令で定める標準規模(12～18学級)を下回る学校

小学校 38校/65校(58%)

中学校 15校/26校(58%)

3 学校規模を適正化するよさ ～小規模校における教育の課題と解決～

小規模校には、「一人一人の子どもに目が届くのできめ細やかな指導ができる」「他学年や地域の方との交流活動がしやすい」などのよさがある一方で、課題も抱えています。

●小規模校の「課題」にはどのようなものがありますか。

- ・クラス替えができず、お互いの評価やイメージが固定化しやすくなります。
- ・部活動の選択肢が少なくなります。
- ・合唱や球技などの集団活動が制約されます。
- ・中学校では9教科10科目全ての教員がそろわず、一部の教員が専門以外の教科の授業を行うこともあります。

●学校規模の適正化ではどのような「よさ」が生まれますか。

- ・多様な考えに触れ、認め合い、協力し合うなど、子ども同士の交流が増えます。
- ・子ども同士が切磋琢磨し、自分の目標を持つなどといった向上心が育ちやすくなります。
- ・習熟度に合わせて、クラスの枠を超えたテーマ別の学習など、さまざまな授業展開ができます。

4 子どもたちが学びやすい学校規模が必要です

情報技術の進化やグローバル化の進展など、今後、将来の予測が難しい社会を生き抜く子どもたちには「柔軟に対応する力」「多様な視点から考える力」「仲間と協働する力」「果敢に挑戦する力」などを確実に育むことが求められています。

このような力を育むためには、学校という集団の中で、教員の多様な価値観に触れ、たくさんの友達と切磋琢磨し、多くのことを学んだり経験したりすることが大切です。

そのためには子どもたちが学びやすい学校規模であることが必要だと考えます。



教育環境を充実するため、市民の皆さんと「学校再編」を考えます

市教育委員会では昨年度から、各地域の自治振興会やPTAの代表の皆さんに、市全体および各地域の小・中学校の現状を伝えています。今後さらに市民の皆さんの意見を踏まえ、一緒に学校再編を考えていきます。

今後の取り組み

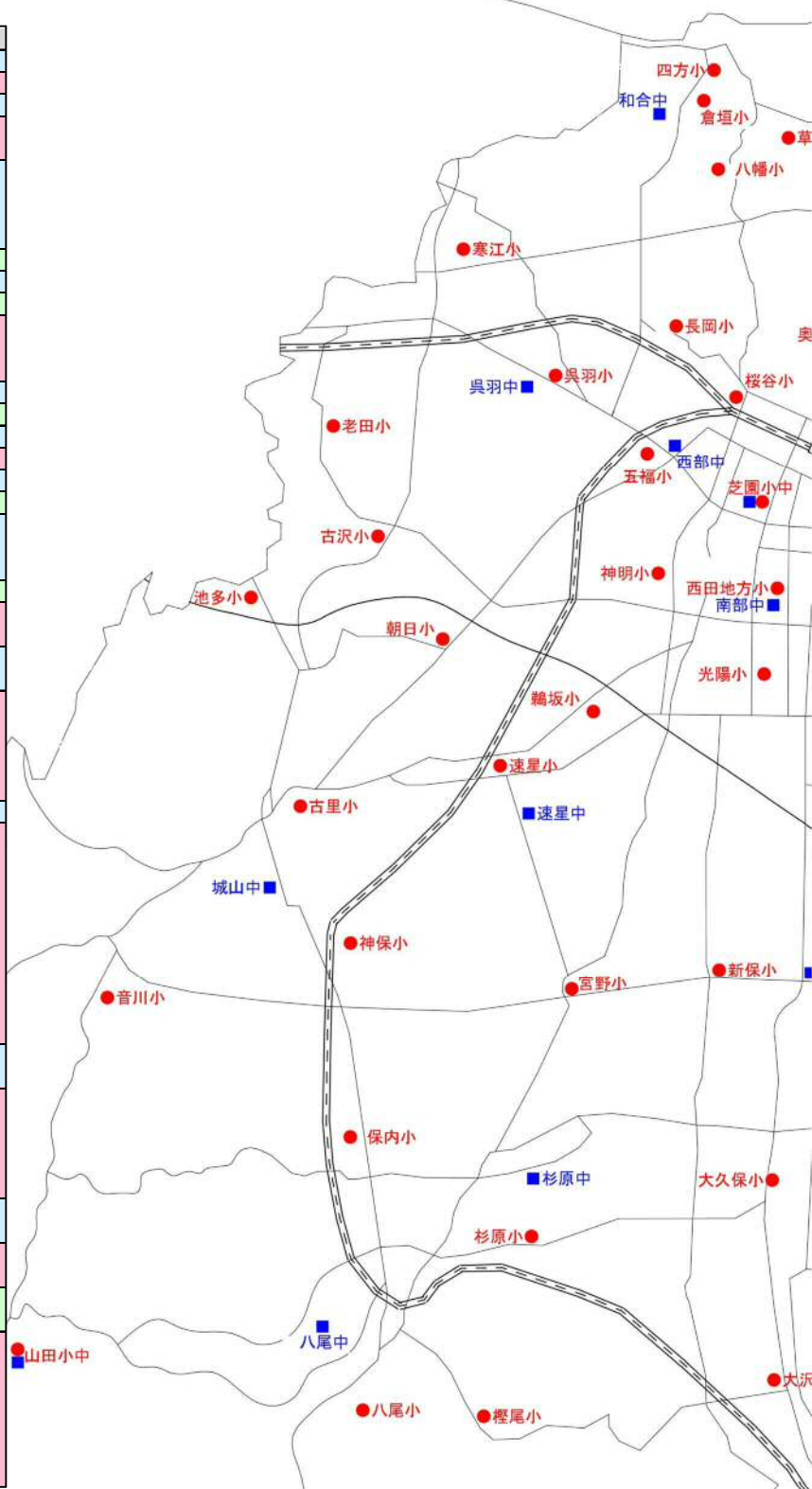
- ・市民5,000人の無作為抽出による学校再編に関するアンケートを行い、結果を公表します。
- ・アンケートの結果や有識者の意見などを踏まえ、今年度中に「学校再編に関する基本方針」を策定します。
- ・さまざまな機会を捉え、市民の皆さんに「小・中学校の将来のあり方」に関する説明を行います。

アンケートは 6 ページからです。

(参考資料) 富山市内の小・中学校位置図、学級数・児童生徒数

●小学校

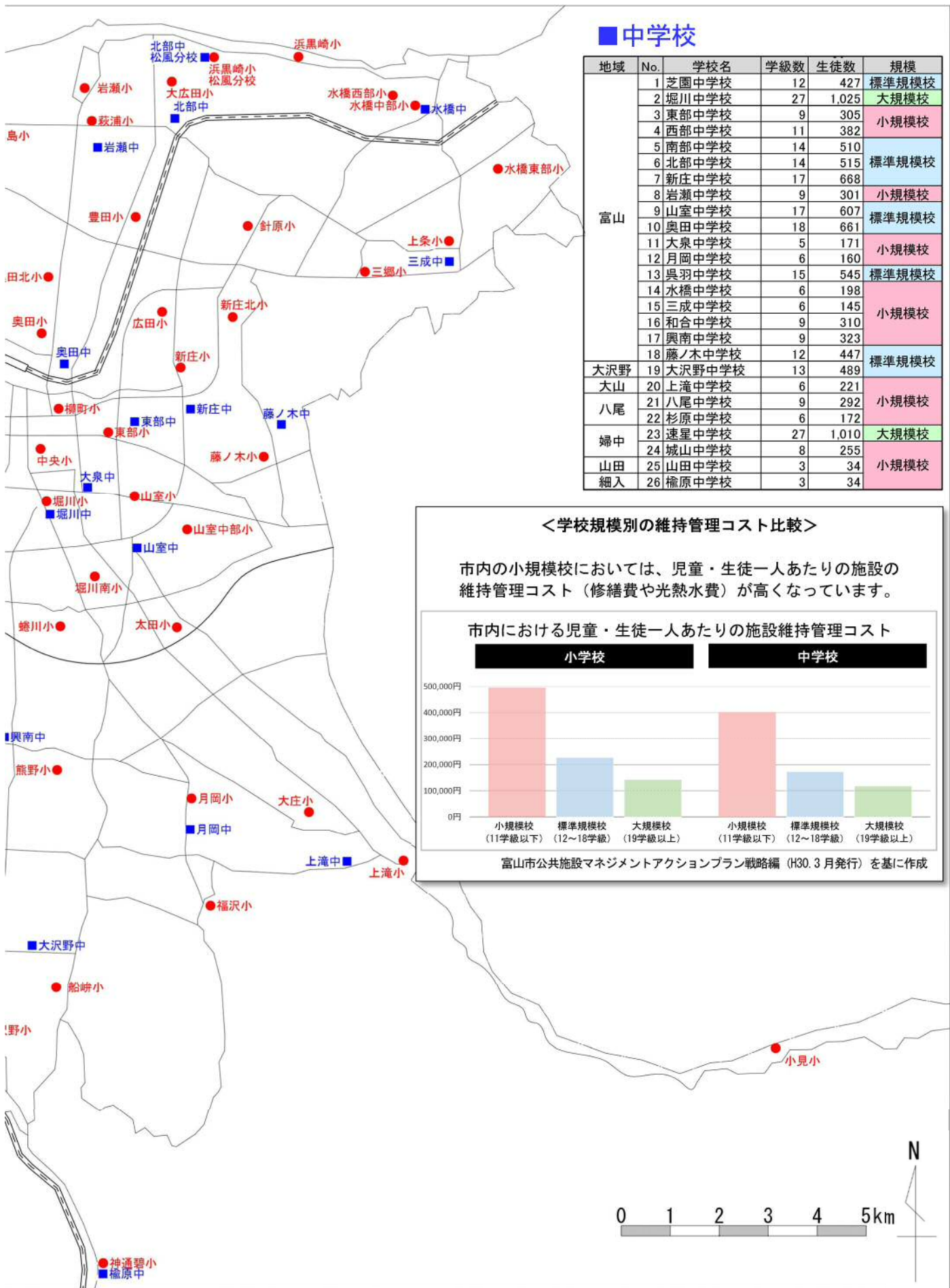
地域	No.	学校名	学級数	児童数	規模
富山	1	芝園小学校	18	616	標準規模校
	2	西田地方小学校	11	309	小規模校
	3	中央小学校	12	392	標準規模校
	4	柳町小学校	6	152	小規模校
	5	桜谷小学校	7	211	小規模校
	6	五福小学校	12	389	標準規模校
	7	奥田小学校	15	479	標準規模校
	8	奥田北小学校	13	388	標準規模校
	9	東部小学校	15	445	標準規模校
	10	新庄小学校	19	599	大規模校
	11	新庄北小学校	18	575	標準規模校
	12	藤ノ木小学校	31	1,082	大規模校
	13	岩瀬小学校	6	111	小規模校
	14	針原小学校	6	140	小規模校
	15	浜黒崎小学校	6	98	小規模校
	16	大広田小学校	12	352	標準規模校
	17	豊田小学校	24	791	大規模校
	18	広田小学校	12	319	標準規模校
	19	神明小学校	6	170	小規模校
	20	堀川小学校	17	585	標準規模校
	21	堀川南小学校	25	809	大規模校
	22	光陽小学校	17	504	標準規模校
	23	山室小学校	18	543	標準規模校
	24	山室中部小学校	18	557	標準規模校
	25	蟻川小学校	21	706	大規模校
	26	太田小学校	6	200	小規模校
	27	萩浦小学校	11	277	標準規模校
	28	熊野小学校	12	354	標準規模校
	29	月岡小学校	12	286	標準規模校
	30	新保小学校	10	267	小規模校
	31	四方小学校	6	145	小規模校
	32	八幡小学校	6	82	小規模校
	33	草島小学校	6	123	小規模校
	34	倉垣小学校	7	186	小規模校
	35	呉羽小学校	18	586	標準規模校
	36	長岡小学校	6	157	小規模校
	37	寒江小学校	6	86	小規模校
	38	老田小学校	6	153	小規模校
	39	古沢小学校	4	39	小規模校
	40	池多小学校	4	40	小規模校
	41	水橋中部小学校	6	161	小規模校
	42	水橋西部小学校	6	149	小規模校
	43	水橋東部小学校	5	54	小規模校
	44	三郷小学校	6	133	小規模校
	45	上条小学校	6	73	小規模校
大沢野	46	大沢野小学校	17	489	標準規模校
	47	大久保小学校	13	426	標準規模校
	48	船嶺小学校	5	51	小規模校
大山	49	上滝小学校	6	84	小規模校
	50	大庄小学校	10	250	小規模校
	51	福沢小学校	3	33	小規模校
八尾	52	小見小学校	3	17	小規模校
	53	八尾小学校	12	272	標準規模校
	54	杉原小学校	12	352	標準規模校
婦中	55	保内小学校	7	180	小規模校
	56	櫻尾小学校	4	32	小規模校
	57	速星小学校	22	761	大規模校
山田	58	鶴坂小学校	25	861	大規模校
	59	朝日小学校	5	59	小規模校
	60	宮野小学校	11	290	小規模校
細入	61	古里小学校	7	208	小規模校
	62	音川小学校	6	70	小規模校
	63	神保小学校	11	254	小規模校
山田	64	山田小学校	6	56	小規模校
	65	神通碧小学校	6	53	小規模校



◆ 市内小・中学校の約 6 割が「小規模校」

学校教育法施行規則に基づく学校規模

小規模校	標準規模校	大規模校
1校あたり11学級以下	1校あたり12～18学級	1校あたり19学級以上



・学級数及び児童生徒数は令和2年5月1日現在（分校除く）

・特別支援学級について、学級数には含めず、児童生徒数には含めて記載

ここからアンケートとなります。以下の各質問にお答えください。

問 1 あなた自身のことについてお聞きします。

問 1 - 1 あなたの性別について教えてください。（1 つに○）

1. 男 2. 女

問 1 - 2 あなたの年齢について教えてください。(1つに○)

1. 20 歳未満 2. 20 歳～29 歳 3. 30 歳～39 歳 4. 40 歳～49 歳
5. 50 歳～59 歳 6. 60 歳～69 歳 7. 70 歳以上

問 1 - 3 あなたの職業について教えてください。（1 つに○）

1. 農林漁業 2. 自営業（農林漁業以外） 3. 会社・団体役員 4. 公務員・団体職員
5. 会社員などの正規職員・従業員 6. パートタイム・アルバイト・派遣社員・契約社員・嘱託
7. 学生 8. 家事専業 9. 無職 10. その他（

問1-4 あなたのご自宅の郵便番号又は町丁名を教えてください。

- 郵便番号（ — ）
- 町丁名（ ）※例：桜町一丁目

問 1-5 あなたの同居するご家族について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

1. 未就学児がいる 2. 小学生がいる 3. 中学生がいる 4. 高校生がいる 5. あてはまるものがない

問 1 - 6 この 1 年間に、あなたの校区の小学校や中学校へどのような目的で行きましたか。（あてはまるものすべてに○）

1. 学校の行事
2. 子ども等の送迎
3. PTA など保護者としての活動
4. 通学路の見守りやボランティア活動
5. 住民運動会
6. 地域の会合や行事（住民運動会以外）
7. 体育館やグラウンドを利用した運動
8. 避難訓練や実際に体育館などに避難
9. 選挙
10. その他（ ）
11. 行っていない

問 2 小・中学校の学校規模についてお聞きます。

以下をご一読のうえ、続く質問にお答えください。

◇小・中学校の学級数については、標準とする学級数が下表のとおり法令で定められています。

	小学校	中学校
標準とする学級数	1 学年あたり 2 ～ 3 学級 (1 校あたり 12 ～ 18 学級)	1 学年あたり 4 ～ 6 学級 (1 校あたり 12 ～ 18 学級)

・児童生徒数が著しく少ない場合においては、複数の学年を 1 つの学級とする「複式学級」を編制します。

◇本市においては、小・中学校ともに約 6 割が、標準とする学級数を下回る小規模校となっています。

問 2 - 1 富山市内の今の学校数や学校規模について、①～③の項目ごとに、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。
(1 つに○)

項目		選択肢				
①小さい規模の小学校が多いと感じる	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
②小さい規模の中学校が多いと感じる	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
③以前に比べると子どもの数が少なくなったと感じる	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
④その他 ()						

問 2 - 2 小規模校※の良さについて、①～⑥の項目ごとに、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。(1 つに○)

項目		選択肢				
①教員の目が行き届きやすい	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
②子ども一人ひとりの活躍の機会が増える	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
③子どもたちの人間関係が深まりやすい	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
④学年を超えた友達ができる	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
⑤体育館など余裕をもって使うことができる	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
⑥学校・地域・保護者が一体となった活動がしやすい	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
⑦その他 ()						

※小規模校：小・中学校とも 1 校あたり 11 学級以下の学校

問 2 - 3 小規模校の課題について、①～⑧の項目ごとに、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。（1 つに○）

項目		選択肢				
①教員との距離が近く、頼りがちになる	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
②球技や合唱・合奏のような集団学習の実施に制約が生じやすい	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
③クラブ活動や部活動の選択肢が少なくなる	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
④クラス替えができないため、人間関係が固定化しやすい	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
⑤男女比のかたよりが生じやすい	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
⑥子どもたちがお互いに競い、励まし、高めあう機会が少なくなりやすい	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
⑦先生が少ないため、専門教科以外の先生に教わる可能性がある。	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
⑧PTA 活動などで、保護者 1 人あたりの役割や作業など負担が大きくなりやすい	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
⑨その他（ ）						

問 2 - 4 小学校では、1 学年あたりどの程度の学級数が適切だと思いますか。（1 つに○）

1. 複式学級 2. 1 学級 3. 2～3 学級（標準） 4. 4～5 学級 5. 6 学級以上

※複式学級：複数の学年を 1 つに編制した学級

問 2 - 5 中学校では、1 学年あたりどの程度の学級数が適切だと思いますか。（1 つに○）

1. 複式学級 2. 1 学級 3. 2～3 学級 4. 4～6 学級（標準） 5. 7 学級以上

問3 小・中学生にとって望ましい通学時間と通学方法についてお聞きます。

問3-1 小学生の片道の通学時間はどのくらいまでが許容範囲だと思いますか。(1つに○)

1. 15 分以内 2. 30 分以内 3. 45 分以内 4. 60 分以内 5. 時間は問わない

問3-2 小学生の通学方法として、どのような方法が望ましいと思いますか。（望ましいと思うものすべてに○）

1. 徒歩 2. 自転車 3. 公共交通機関 4. スクールバス 5. 保護者送迎
6. その他（ ）

問3-3 中学生の片道の通学時間はどのくらいまでが許容範囲だと思いますか。(1つに○)

1. 15 分以内 2. 30 分以内 3. 45 分以内 4. 60 分以内 5. 時間は問わない

問3-4 中学生の通学方法として、どのような方法が望ましいと思いますか。（望ましいと思うものすべてに○）

1. 徒歩 2. 自転車 3. 公共交通機関 4. スクールバス 5. 保護者送迎
6. その他（ ）

問 4 小・中学校の再編についてお聞きます。

学校という集団の中で、教員の多様な価値観に触れ、たくさんの友達と切磋琢磨し、多くのことを学んだり経験したりすることが大切です。そのためには、**将来の子どもたちが学びやすい学校規模**であることが必要だと考えています。

問 4 - 1 将来の子どもたちが学びやすい学校規模とするために、富山市の小・中学校の再編はどのようにしていくことが望ましいと思いますか。（1 つに○）

1. 今後、さらに児童生徒が減少しても今の学校配置が望ましい。 →問 4 - 2 にお進みください
2. 今の学校配置が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない。 →問 4 - 3 にお進みください
3. 市全体を対象とした計画を立て、積極的に学校再編を進めるべき。 →問 4 - 3 にお進みください
4. その他（ ）

次の問は、問 4 - 1 で、「**1**」を選択した方にお聞きます。

問 4 - 2 問 4 - 1 で、「1」の「今後、さらに児童生徒が減少しても今の学校配置が望ましい。」を選択した理由として、①～④の項目ごとに、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。（1 つに○）

項目		選択肢				
①学校は地域の活動拠点であるから	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
②地域と近く、地域の人材や自然・歴史を生かした教育活動ができるから	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
③地域から学校がなくなるのは寂しいから	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
④今の教育環境を大切にしたいから	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
⑤その他（ ）						

→問 4 - 4 にお進みください

次の問は、問４－１で、「**２**」または「**３**」を選択した方にお聞きます。

問４－３ 問４－１で、「２」の「今の学校配置が望ましいが、学校再編を進めるのはやむを得ない。」、または「３」の「市全体を対象とした計画を立て、積極的に学校再編を進めるべき。」を選択した理由として、①～⑤の項目ごとに、あなたの考えに近い選択肢を選んでください。（１つに○）

項目		選択肢				
①複式学級の解消やクラス替えができるから	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
②多くの友達や教員の多様な意見や考えに触れることができるから	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
③適正に教員が配置され、専門的な授業が受けられるから	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
④進学・就職の際に人数のギャップによる不安感が少なくなるから	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
⑤学校再編により教育予算が効率的に活用できるから	➡	そう思う	少し思う	どちらでもない	あまり思わない	そう思わない
⑥その他（ ）						

次の問は、**すべての方**にお聞きます。

問４－４ 学校再編を進めるには、どのような点に配慮すべきと思われますか。（最大３つまで○）

- 子どもたちの通学（時間・距離・方法）と安全確保
- 子どもたちの人間関係づくりや心身の負担軽減（ケア）
- ９年間を見通した小中一貫教育の実施
- 再編する学校の子どもたち同士の事前交流
- 保育所や幼稚園、学童保育など子育て機能を有する施設を学校と一体的に整備
- 学校再編で学校が空き施設になった場合の有効活用策
- 避難所機能の充実
- 学校を地域の拠点とし、その周辺に公共施設や生活に必要なサービス機能の整備
- 保護者・地域団体・地域住民との十分な協議
- その他（ ）

問5 今後の学校教育についてお聞きます。

今後、学校再編を進めるにあたって、学校教育で特に力を入れてほしいこと、これから取り組んでほしいことを教えてください。
(最大3つまで○)

1. 基礎的な学力を確実に身につけること
2. 習熟度別・少人数指導※など、きめ細かな授業の実施
3. 小学校における教科担任制による専門性の高い授業の実施
4. 自ら学び、自ら考える力を身につけること
5. 職場体験など社会体験学習を充実し、将来に夢や希望を持てるようにすること
6. 計画的に宿題を出し、家庭での学習習慣を身につけること
7. より多くの子どもたちや教員とかわり、コミュニケーション能力を育むこと
8. 健康の保持増進と体力の向上
9. 道徳教育の充実
10. 郷土や地域の歴史を学び、ふるさとへの愛着をもてるようにすること
11. 国際化、高度情報化などさまざまな社会の変化に応じた教育を充実すること
12. その他 ()

※習熟度別・少人数指導：学習の習熟度に応じて少人数による指導や個別指導を行う授業形態・方法

問6 学校再編についてご意見をご自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。

この調査票は、同封の返信用封筒に入れて、**8月24日(月)**までに投函をお願いします(切手は不要です)。